



成小だより



伊勢原市立
成瀬小学校
令和7年1月
作成：今井仁雪



大きい年賀状を作り、こちらを使って
始業式で話をしました。

新しい年をむかえ、おかげさまで三学期をおだやかに始めることができました。日ごろからみなさんのご理解とご協力に感謝いたします。

始業式では今年の干支についての話をしました。巳年は、へびが脱皮をしながら大きくなっていくように、これまでの努力や経験をもとに大きく成長できる年であると言われているそうです。子どもたちには、ぜひ今年も多くのことにチャレンジして、しなやかにのびのびと成長してもらいたいといった話を伝えました。

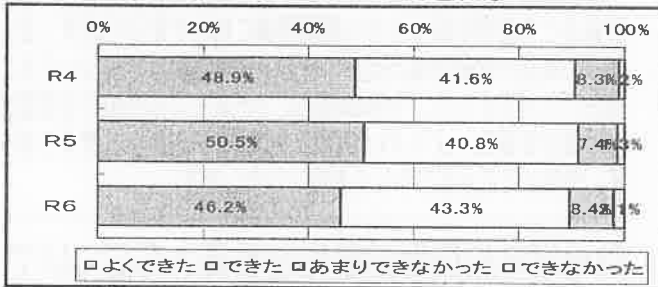
これからも、ご家庭や地域のみなさんと連携をさせていただきながら、子どもたちにとって豊かな教育活動となるよう努めてまいります。

本年もどうぞよろしくお願いたします。

昨年を実施いたしましたアンケートについてお知らせします。

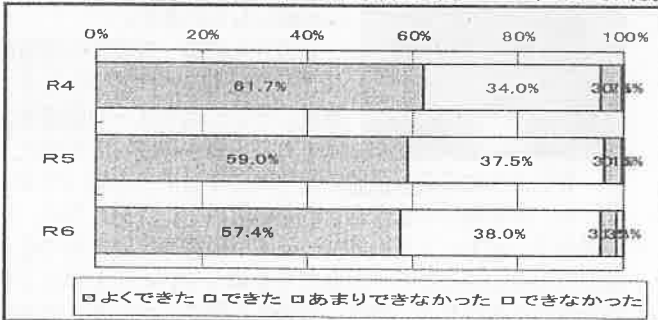
○「児童用アンケート」(質問事項の一部を抜粋してお知らせします。)

①先生や友だちにあいさつができた。



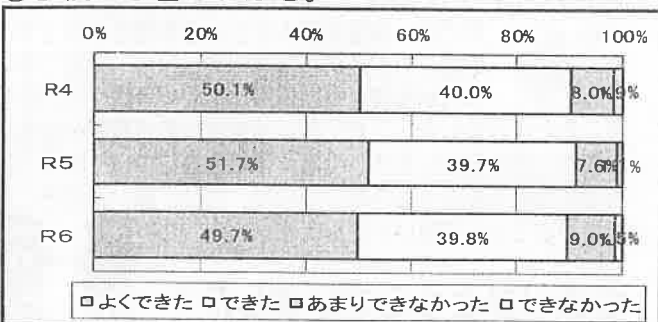
①「～あいさつができた」については全体でも約9割の児童が「(よく)できた」と回答しています。経年でも割合が高いことからこれまでの取組の成果があらわれていると考えております。

②そうじをいしょうけんめいにやっ、学校をきれいにしようとしていた。



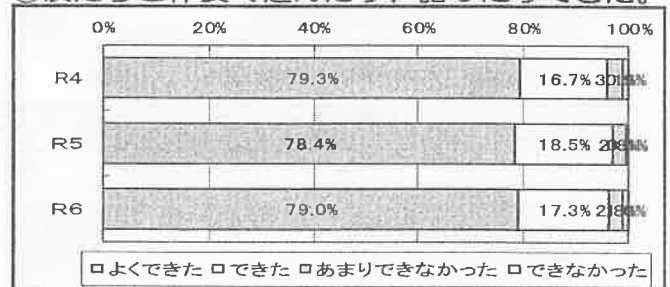
②「そうじをいしょうけんめいに～」では今年も95%以上の児童が「(よく)できた」と回答していました。学校生活においても基本的な生活習慣が身に付いていると考えております。

③学校の学習はわかる。



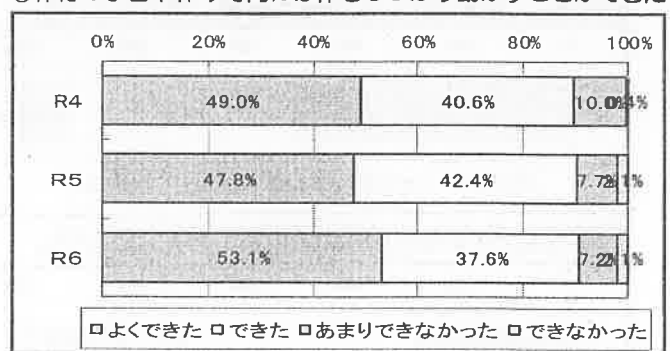
③全体として経年でも約9割の児童が「(よく)わかる」と回答しています。しかし「あまりできなかった」と感じている児童も一定数いることから、今後も個々に応じた声かけやアドバイスのよりよい仕方などについて検討及び取組を進めていく必要があると考えています。

④友だちと仲良く遊んだり、話したりできた。



④「友だちと仲良く遊んだり話したりできた」という項目では全体として約96%の児童が、「(よく)できた」と回答していました。関連する質問項目の「乱暴な言葉や友だちの嫌がることを言わない」においても約9割の児童が「(よく)できた」と回答していることから、児童同士で関わる機会が増えている中でも、児童自らが友だちとのよりよい関わり方をよく考えながら楽しく過ごしていこうとする姿勢があらわれていると考えています。

⑤体育の学習や休み時間には体をしっかり動かすことができた

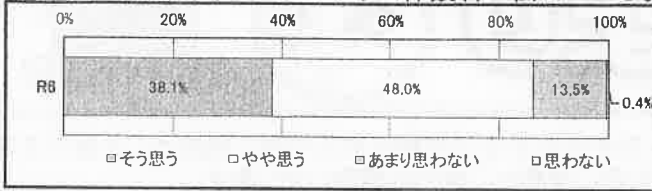


⑤全体として約9割の児童が、「(よく)できた」と回答していました。この3年間で積極的に体を動かそうという意識が着実に高まっていると考えています。今後も体育の授業や休み時間の過ごし方などについて工夫できるよう努めていきます。

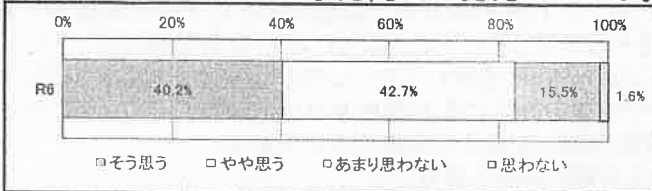
これまでの取組について、一定の成果はあらわれていると考えますが、それぞれの結果につきましては、校内に掲示し子どもたちと共有するとともに、今後の教育活動にいかしていけるよう努めてまいります。

○「保護者アンケート」(ご協力ありがとうございました)

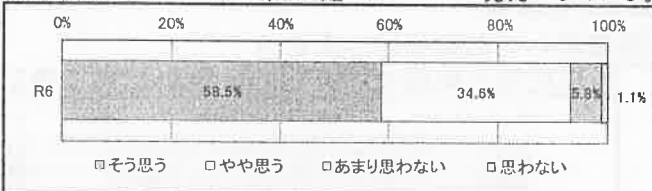
①学校は教育方針をわかりやすく保護者に伝えている。



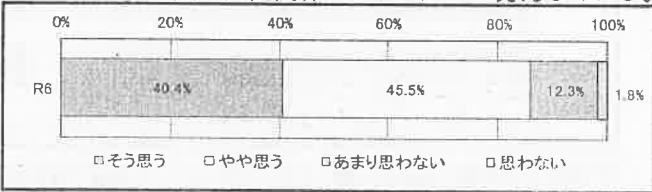
②学校は子どもたちの学力向上に努力している。



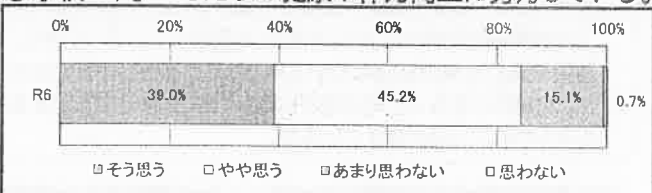
③学校は、子どもたちが楽しく過ごせるための努力をしている。



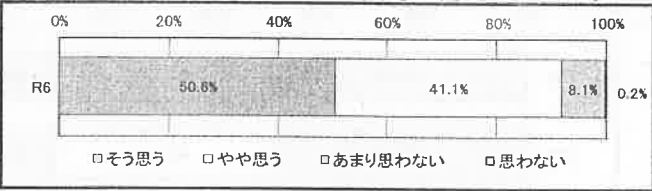
④学校は、より良い人間関係づくりのために努力している。



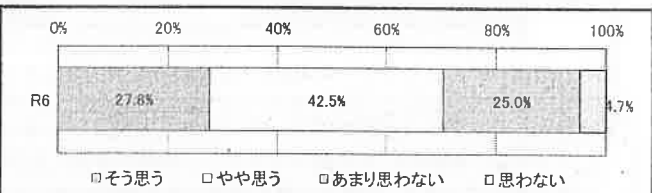
⑤学校は、子どもたちの健康や体力向上に努力している。



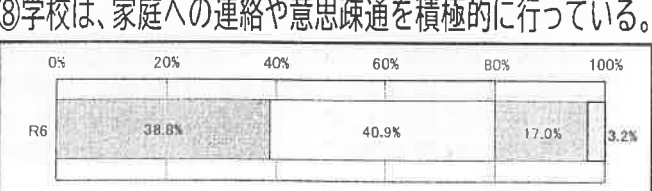
⑥学校は、防犯・防災・交通安全指導に努力している。



⑦学校は校舎内外の環境整備に努力している。



⑧学校は、家庭への連絡や意思疎通を積極的に行っている。



≪集計結果より≫

12月に実施した保護者アンケートにつきまして、年末のご多用のところご協力をいただきまして誠にありがとうございました。学校全体の結果の概要についてお知らせいたします。

③「～子どもたちが楽しく過ごせるための努力をしている」では9割以上の方から「そう(やや)思う」といった回答いただきました。また、②「～学力向上に努力している」や④「より良い人間関係づくりに努力している」⑤「～体力向上に努力している」といった項目では8割以上の方から肯定的な評価をいただいております。そのようなことから学校の取組に一定のご理解をいただいているものと認識しておりますが、児童アンケートの結果も踏まえ、より効果的な取組ができるよう多面的に検討を図っていきたいと思います。

その一方で、⑦「～校舎内外の環境整備に努力している」についてはさらに努力を重ねる必要があると考えております。現在市内において最も児童数の多い学校であることや施設の老朽化など、さまざまな箇所において配慮をしていく必要がある状況ですが、市教育委員会とも連携を図りながら環境整備に努めてまいります。また、面談の時期や学級閉鎖の周知の仕方、家庭訪問などについてもご意見をいただきました。今回の結果につきましては今後の学校運営に向け検討を重ね、よりよい取組につなげていきたいと考えております。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

◎地域学校協働活動推進委員さんについて



本校では、学校と地域をつなぐパイプ役である「地域学校協働活動推進委員」として、民生委員で学校運営協議会委員でもある石塚京子さんをお願いしています。

石塚さんには、以前から地域のみなさんにお声をかけていただき、全教室のテレビ用カバーや図書室の座椅子カバー等を作成して下さったり、夏休みには成瀬公民館で自主的に学習できる場「サマースクール」を地域のみなさんとともに設けていただくなど、多くの場面でご尽力いただいております。家庭や学校だけでなく地域の手も合わせながら子どもたちを育てていくことがとても大切であると言われております。今後も石塚さんから多くのみなさんにお声がけがあるかもしれませんが、その際は何卒ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

◎R7年度 学校徴収金(給食費・教材費等)について



市では、保護者のみなさんの利便性の向上や学校の働き方改革の推進等の観点から、令和7年4月から給食費と教材費等の徴収や管理を市が取り扱うこととなりました。これに伴い給食費や教材費等の支払いが学校から市に変わります。今後、手続き等について市から出されるお手紙を配布する予定ですので、ぜひご覧いただきご対応を何卒よろしくお願いいたします。

◎ありがとうございました!



先日子どもたちで行った「赤い羽根共同募金」は多くのみなさんに参加してもらい、合計で20,630円が集まりました。集まったお金は社会福祉協議会へ持参いたしました。ご理解ご協力をいただき誠にありがとうございました。